

材質で選ぶ

ダイローブ製品に使用している樹脂

ポリウレタン

- 耐溶剤性** ほとんどの有機溶剤に溶けることがなく、使用後の硬化もありません。
- 耐油性** 天然油脂から化学油脂まで幅広く使えます。
- 耐熱性** 150℃でも熱軟化しません。
- 耐寒性** 耐溶剤用のポリウレタンは-20℃で硬くなります。防寒用のポリウレタンは-70℃でもひび割れしません。
(JIS K6404-13に準拠)
- 耐摩耗性** 耐摩耗試験(試験方法: JIS K7204)の結果、ダイローブのポリウレタン: 3000回でも破壊なし

塩化ビニルの5倍以上、天然ゴムの7.5倍以上の耐摩耗性

主な手袋に使われている塩化ビニル: 600回で破壊
主な手袋に使われている天然ゴム: 400回で破壊

- 高強度** 引張強度は、主な手袋で使われているニトリル・塩化ビニルの3倍(当社調べ)

防寒用手袋 ————— P7~8

- ダイローブ108 ●ダイローブ118
- ダイローブ102シリーズ(102・102-55・102F)
- ダイローブ103シリーズ(103・103K・104)
- ダイローブ120
- ダイローブ301H ●ダイローブ350H

耐溶剤用手袋 ————— P11~12

- ダイローブH3 ●ダイローブ20 ●ダイローブH20
- ダイローブ223 ●ダイローブ224
- ダイローブ400シリーズ(400・440・440-55)
- ダイローブ5000シリーズ(5000・5500・5500-55)
- ダイローブ5600 ●ダイローブ5800 ●ダイローブ550

静電気対策用手袋 ————— P13~14

- ダイローブH4 ●ダイローブH40
- ダイローブ300シリーズ(300・330・300WN)
- ダイローブ320シリーズ(320・320-33・320B)
- ダイローブ3000シリーズ(3000・3300・3300-55)

耐油用手袋 ————— P16

- ダイローブ220シリーズ(220・220-33・220-55)
- ダイローブ240シリーズ(240・240-33)

シリコーン

- 耐溶剤性** 特定の溶剤に対して優れた耐溶剤性を有します。
- 耐熱性** 200℃でも熱軟化せず、物性が急激に低下することはありません。
- 難燃性** 直火に強く、炎が簡単には燃え移りません。
- 柔軟性** とても軟らかく、伸び率は500%以上です。
- 撥水性** 水をはじくので汚れが付きにくく、汚れた場合も一拭きで落とせます。

耐熱用手袋 ————— P9

- ダイローブH200シリーズ(H200・H200-40・H200-55)

耐溶剤用手袋 ————— P10

- ダイローブH201 ●ダイローブH202
- ダイローブH203シリーズ(H203・H203-60)

グローブボックス用手袋 ————— P20

- ダイローブGBS-1 ●ダイローブGBS-3

EVOH

エチレンビニルアルコール共重合体

- 耐透過性** 気体を通しにくい性質があります。
- 耐溶剤性** 溶剤・薬品に触れても変化しにくい性質があります。(アルコール系除く)

耐透過フィルム手袋&エプロン ————— P17

- ダイローブT-1 ●ダイローブT-1エプロン

FKM

フッ素ゴム

- 耐透過性** 気体を通しにくい性質があります。
- 耐溶剤性** 塩素系溶剤、芳香族系溶剤に対して優れています。(ケトン、アミン、エステル系除く)

耐透過用手袋 ————— P18

- ダイローブ730

CSM

クロロスルホン化ポリエチレン

- 耐酸・耐アルカリ性**
気体を通しにくい性質があります。
※有機溶剤には使えません。
有機溶剤にはポリウレタン製手袋をご使用ください。

耐酸・耐アルカリ用手袋 ————— P19

- ダイローブA95シリーズ(A95・A95-55)
- ダイローブA96シリーズ(A96・A96-55)

グローブボックス用手袋 ————— P20

- ダイローブGBC-1